



第10期 神奈川区地域づくり大学

第4講「アイデアを磨く！」～対話×ひらめき×この指とまれ～

- 日時：2024年1月19日「火」13時～16時
- 会場：かなーちえ(神奈川区地域子育て支援拠点)
- ゲストスピーカー：吉原 明香 氏
(東京しごとセンター多様な働き方相談員)
- 岩本 渚 氏
(社会福祉法人 横浜市神奈川区社会福祉協議会)
- ファシリテーター：塚原 泉 氏(NPO法人親がめ理事長)

- あいさつ・アイスブレイク(私の予定アクションプラン)
- 中間支援組織団体スタッフからのお話①(岩本氏)
- // ②(吉原氏)
- アクションプランご意見交換グループワーク
- わかち合いタイム
- フリートークでギュッとタイム
- ふり返りタイム

13:00- あいさつ・今日の流れ・アイスブレイク

- ・ゲストスピーカー紹介、参加ケアプラザ・区民活動支援センター コーディネータ紹介
- ・たくさんの人と回遊トーク①現時点でのアクションプラン (やりたいこと)



13:20- ゲストスピーカーより① (岩本氏)

自己紹介

神奈川区にある中間支援組織いろいろ : 活動 (やりたいこと) の内容・フィールドがポイント

区社協

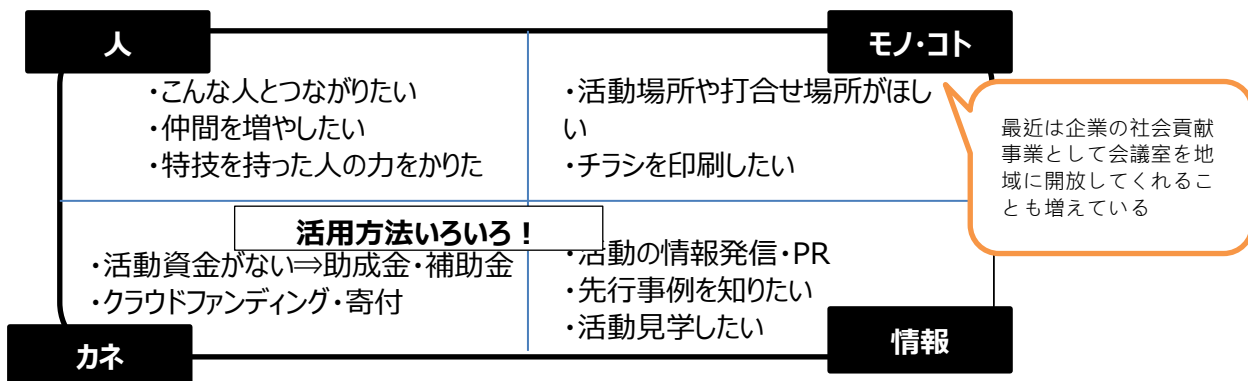
- ・神奈川区域の福祉保健分野 (高齢・障がい・児童関係 団体・施設等) とのネットワーク

地域ケアプラザ

- ・区内地区ごとに担当エリアあり
- ・より身近で地域密着
- ・福祉保健分野団体とつながり

区民活動支援センター

- ・生涯学習や趣味・特技を活かした活動への支援
- ・福祉保健分野に限定されない



最近は企業の社会貢献事業として会議室を地域に開放してくれることも増えている

※福祉は支援が必要な人の特別な分野と思われがちだが・・・
 アクションプランに〇〇 (農業・ICT・防災etc...) ×ふくしの視点を
 ②つうの(くら)しの(あ)わせ⇒地域で活躍する人がひろがる

支援する人/支援される人ではない「ふくし」

C.f)葉っぱビジネスで地域を元気にする80代

区社協でできること

- ・事故やケガにそなえて、ボランティア保険加入
- ・福祉保健活動拠点(はーと友)の会議室や印刷機の貸し出し
- ・「神奈川区ふれあい助成金」の活用：新規立ち上げ助成あり
- ・非営利な活動の周知協力やチラシ配架 区社協のInstagramに掲載できる!
- ・地域ケアプラザと連携した活動支援

13:40- ゲストスピーカより②（吉原氏）

自己紹介

- ・横浜市社会福祉協議会入職後、つながった市民活動団体のネットワークを立ち上げ、事務局を務める
- ・法人化後、市域の地域づくり大学校事業の開校に携わる
- ・2015～2021神奈川県地域づくり大学校事業に関わる
- ・2023～東京しごとセンター多様な働き方専門相談員としてNPOに就職したいボランティア活動に関わりたい人のコーディネートを行っている

「豊かさマインド」

- ・みんなの幸せ／全体がよくなる には？と考えること：横浜に根づいている
 - ・万能の場・万能の取り組みはない 自分の得意やネットワークを一部分として生かす
 - ・今までにたくさん「豊かさマインド」をもつ人に出会ってきた
- 地域大のいいところ：自分以外にこういう人たちが確実に存在するとわかること

ヒストリー・原点

- ・福祉や医療の実態を見たこと：老人病院でのひとりの最後、看取りの時間に胸が痛んだ
 - ・地域で草の根で活動するひと＝いきいきと光明が差した明るさがとびこんできた
- する側／される側でない「相互性」の世界

仲間とのグループワーク

- ・立場や考え・気持ちを尊重し、建設的なフィードバックを
- ・他の人からのフィードバックを受け止め→考えを深め→リサーチしてみる

14:15- グループワーク

ケアプラザ地域交流コーディネータ、
区民活動支援センターコーディネータ、ゲストスピーカ
もグループに入り、テーマ別のグループメンバーで
※1グループ3～4人×6グループ

グループワーク

- ・グループ内でひとりずつアクションプランを発表（2分）
- ・残りのメンバーが「いいね！」や「私が協力できること」をふせんに書いてプレゼント（3分）

15:10- 共有タイム

- ・グループに入った各コーディネータよりグループで話した内容や、アドバイス、伴奏支援について発表のシェアタイム

スモールステップで／地域のキーマンとつながる／助成金の活用を／仲間・同志を見つける

情報発信：掲示板、口コミ、SNS、タウンニュースにコンタクト

情報 C.f) 教員のボランティアグループ「横浜すばいす」、NPO法人全国こども食堂支援センター「むずびえ」、まちづくりに関すること「横浜プランナーズネットワーク etc.

各コーディネーター

区民活動支援センター 山下さん／沢渡三ツ沢地域ケアプラザ 田中さん／六角橋地域ケアプラザ 安信さん／
反町地域ケアプラザ 鮫島さん/岩本さん/吉原さん

15:30- それぞれのプラン一言リレー

- ・A4カラー用紙にプラン名と名前を記入 マイクでリレー

15:40- フリータイム

- ・各自話したい人と自由に交流

15:50- 内省タイム&PRタイム・終了16:00

- ・ふりかえりシート記入 ※5つの柱を尺度に今日の学びを数値化&自由記載

本日の気づき・学び抜粋(自由記載)

- ・対話からの学びが多かったです。園外に出向くとき何か受け身だと感じていましたが、園の環境を利用して主体的に動くことを考えていこうと思いました
- ・皆がそれぞれ地域のために何ができるか？という視点で考えているかを知ることができました。一人でやることではなくて伴走してくれる人を探すことが大切
- ・ケアプラザのコーディネーターさんにいろいろ相談できることを学べた。「キーマンは必ずいる」という言葉は心に留めておきたいと感じた
- ・自分の考えをうまくまとめてからの参加ができていないと思っていたが、口に出していくうちに、ブラッシュアップしていく感覚があった
- ・「〇〇×福祉」のところに空き家が入ったらいいなあと思いました。助成金の話も聞けてよかったです。

本日の気づき・学びを、今後アクションプランにどういかしたいか抜粋(自由記載)

- ・協力者、ケアプラザ コーディネーター、地域代卒業生、地域の人が地域でやる意義！
- ・具体的なゴミ問題解決の仕方 通学路のクリーンナップ、連携先を知ることが(青少年指導員)できて学校との連携の可能性を知ることができた
- ・早速 現場で動き出せそうです。色々な意見アドバイスがもらえたことで活動キャパが広がる想像ができたのでアウトプットしていきたいと思います
- ・ホームページを作成したい
- ・地域通貨 というアクションプランであったが、周りの人からの声でもう少し小規模から始めても良いのでは と考えられるようになった。クーポンなどからの入り口も検討していきたい
- ・一緒にやる人とスモールステップ、具体的に考えていこうと思いました
- ・主体的に→ 園の環境を利用した活動、受け身→地区を探りながら園外活動につなげていきたい
- ・民生委員さん、主任児童委員さんにも会って味方につけて、町内会の方に空き家活用のご相談に行こうと思いました。「3人いればはじめられる、5人そろえばなんでもできる」→とりあえず3人仲間をつくりたいです
- ・私のプランに関しても、ひとりで考えているより対象となる相手との相互コミュニケーションが必要
- ・まずは「サークル活動」としての入り口をつくり、ケアプラザなどで気軽に参加できるように実行していきたい
- ・クラウドファンディングを完了させている方やPTAという交流でアクションプランを続けていこうとしている人がいてうれしかった！